



【浜小学校教育目標】 **こころ豊かでたくましく自ら学び続ける子**

- ① もいやりのある子 (徳育) …他人を思いやり、共生感のもてる子
- ② かんがえる子 (知育) …筋道だてて考え、自尊心のもてる子
- ③ けんきな子 (体育) …たくましい心と体で意欲のもてる子
- ④ ランティアの心 (志) …人に役立つ喜びのもてる子

日差しも強くなり、夏も真っ盛りと言わんばかりの暑さが続くようになってきました。プールからは、子どもたちの歓声が元気よく聞こえてきます。

土曜日のオープンスクールでは、「災害時の引き渡し訓練」と児童会が中心になって企画運営を進めた「浜っ子フェスティバル」に多くの方にご来校いただき、ありがとうございます。工夫したお店や生き生きとした子どもたちの活動をご覧いただけたかと思います。子どもたちにとっても大きな喜びと励みになったことと思います。

さて、今回の学校だよりでは、「考える子」について考えたいと思います。人は、様々な場面で考え、判断し、行動する生き物です。社会的な行動のほぼすべてが考えた上での行動だとも言えます。それは、子ども達も同様です。この「考える力」を育み、伸ばしていくのは大人の役割でもあります。学校では、学習場面に限らず、日常生活や友達関係においても、「どのようにすればうまくいくのか」「どのように考えれば、よりよい判断ができ、よりよく行動できるのか」を発達段階に応じて学びます。

ひとえに「考える」と言っても幅が広く、それぞれの環境やおかれた場面も異なるので「思いやりの心を育てる」と同様で「これが正解」というものはありません。参考として、いくつかの考え方をあげますので、ご一読ください。

(1) ひとりひとりの疑問や好奇心を大切に、理由や根拠を考えることが重要です。

「これって、おもしろいよね。」「へえ、こんなふうになっているんだ!」「すごい!こんなことに気づいたんだ!」「どうして、こんな仕組みになっているんやろうねえ?」「なんでやろうね?」「どうしたらいいと思う?」「一緒に調べてみようか。」

人は好きなことや興味のあることには、探究心が強いものです。ひとりひとりの思いや願い、疑問などをきっかけにして、そこから考える習慣をつけていくとよいことがよくあります。子どもが何かに興味を持ってきたら、大きなチャンスです。大人からみると当たり前のことであっても、共感し、一緒に考えていくことで、さらに探究心が育ちます。また、子どもは困ったときに「これ、どうしたらいいのかなあ?」とか「これ、なんでこうなっているの?」「こんなんできへん!」と言って来たりすることがよくあります。これは、子どもが興味を持ち、好奇心いっぱい、何とかしたいという気持ちの表れです。こんな時、「これは、こうやってこうしたらできるよ」としっかりと教えてあげることも必要かもしれません。でも、いつも、いつも答えをすべて教えていると、

子どもも答えを待ち、自分で考えようとしなくなってしまうかもしれません。ですから、大人からみると、どうしたらよいかわかっていることでも、時には「どうしたら、いいんやろうね?」とか「なんでやろうね?」などと、もう一度子どもに考えるように促したり、少しヒントを与えて一緒に考えたりすることが、子どもの思考を活発にさせるのによいと言われています。また、考えるときには、比較する、選択する、予測する、予想することや根拠や理由をはっきりさせることも大切です。



(2) 基礎・基本となる知識や情報を十分身につけることが大切です。

「毎日こつこつとがんばってるね。」「根気よくできるようになってきたね。」「言わなくても宿題ができるようになってきたね。」

「考える」と言っても、何の知識も情報もなければ、考えようがありません。時には、物事の基礎・基本として知識を根気よくしっかりと覚えこむことも必要です。基礎基本を身につけるため、宿題や家庭学習などお子さんへの声かけにもご家庭で日々苦心しておられることかと思えます。子どもたちの成長やがんばりがわずかであっても、それをとらえて認め、ほめることが次への意欲と原動力になってきます。

さらには、今まで経験したり、蓄えてきたりした知識や情報をもとにして、新たな知識や情報を身につけていけるとすばらしいです。基礎・基本を身につけていく過程の中でも、自分で工夫したり、試行錯誤したりするとも必要ですし、「こうしたら調べられるという」方法を身につけていくことも大切です。調べる方法や知識を蓄える方法としては、本から得る、誰かに尋ねる、インターネットで調べるなど様々な方法があります。考える元になる知識や情報を十分身につけることができるよう、「～で調べてみたら…?」「〇〇さんにたずねてみたら…」など支援をしていくとさらに子どもの力は伸びていきます。

(3) 「経験」「体験」「発信・交流」がさらなる思考の場に。

「どうしたらよかったんだろうね?」「～したらうまくいったんじゃないかなあ。」「きれいに片付けると気持ちいいね。」

子ども達は、遊びの達人です。ちょっとしたことからいろいろな遊びをみ出します。いらなくなった箱や芯、ラップ、毛糸などちょっとした廃材からいろいろなものを創り出します。自然の中でも新しい遊びを生み出し、様々なことを発見し、学びます。友達との遊びの中でも、ルールや約束・マナーがあり、多くの学びがあります。子ども達のこうした「経験」「体験」は、貴重な考える場となります。多くの経験や体験の場を与えることが大切です。「物を片付けない」「友達と言い合いに…」「それは、危ないのでは…!？」と大人からみると困ったことやトラブルもあるかもしれませんが、実はそれが子どもと一緒に考えるよいチャンスにもなります。「どうしたらよかったんだろうね?」と問いかけたり、しっかりと片づけができたときには「片付けてくれてありがとう。おかげですっきりしたわ。」と声をかけて認めたりしてみてください。

また、友達へ自分から発信したり、逆に友達の考えを聞いたりすると、新しい発想を生み出し、よりよい考えに至ることも多々あります。家族での会話も大切なことの一つです。

何事も、根気よく継続することが大切です。しっかりと考える力をつけていきたいと思います。

《こころの教育講演会（人権講演会）及び懇談会》

7月12日（木）にこころの教育講演会（人権講演会）と学級懇談会があります。講演会につきましては、近年の急速な発展に伴って非常に便利になってきている反面、その危険性も指摘されているIT機器の正しい活用法について、講師の先生（KDDI 大久保輝夫氏）にお話をさせていただきます。携帯やスマホ、PCは使い方によっては、命や人権に関わる大きな危険が及ぶ場合もあります。児童は、5・6年生のみの参加ですが、保護者の皆さんは、どの学年の保護者でもご参加いただけますので、是非ともご参加いただければと思います。

また、そのあと、今学期最後の懇談会を開きますので、あわせてご参加をお願いいたします。



《お知らせ》

☆尼崎市の小中学校等では**節電対策**として、教育委員会の方針で**夏季休業中の8月11日（土）～17日（金）の7日間、学校・園の職員室等を閉鎖いたします**。何かございましたら事前にご相談ください。放課後や休日に運動場・体育館等の貸し出しをしています「学校開放事業」もこの期間は、休止します。趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願いいたします。

☆学校開放(スポーツ施設としての平日の体育館等の団体利用)が設定されない場合、学校開放職員が午後7時までの勤務となり、学校は全館施錠されています。土曜日は12時15分から13時30分までの間、学校開放職員が配置されていませんので、基本的に北校舎、職員室等を閉鎖しています。また、県教委、市教委から勤務時間の適正化を強く求められています。本校も基本的に**毎週木曜日は定時退勤日として、午後5時半以降は教職員を退勤させる方向で進めております**。何卒、ご理解ご協力いただきますようお願いいたします。



7月 <行事予定>

日	曜日	予 定
2日	月	代休日
3日	火	児童集会 委員会活動 ※月曜校時
4日	水	小田地区合同学習会（ひまわり学級）
5日	木	環境体験学習（3年）
6日	金	5校時終了後下校（全学年）
12日	木	人権講演会（13：45～ 5・6年生児童・1～6年の全保護者） 懇談会（6校時 全学年）
16日	月	海の日
18日	水	友長会 給食終了
19日	木	校外児童会・集団下校（4校時）
20日	金	終業式 大掃除
21日	土	夏季休業日（～8月24日）
23日	月	夏季水泳指導・学習会（～7月27日） なかよしキャンプ（～7月24日）
25日	水	PTA夏祭り

<8月の主な予定>

- 8月11日（土）～17日（金） 節電のための学校閉鎖期間
- 8月22日（水） プール清掃（体育委員） 予備日：24日（木）
- 8月24日（金）～29日（水） 水泳指導（5・6年）
- 8月27日（月） 始業式 大掃除
- 8月30日（木） 水泳記録会（5・6年） 予備日：31日（金）

<9月の主な予定>

- 9月 3日（月） 給食開始（全学年）
- 9月29日（土） 体育大会 予備日：9月30日（日） 代休日：10月1日（月）

